

令和6年度 伊勢志摩国立公園地域協議会

# 「伊勢志摩国立公園ビジョン」の 検討・作成について

## 伊勢志摩国立公園

コンセプト: 悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

目指す将来像: 至る所に存在する人と自然の結び目に触れられる  
人々が寄せては返す波のように訪れる国立公園

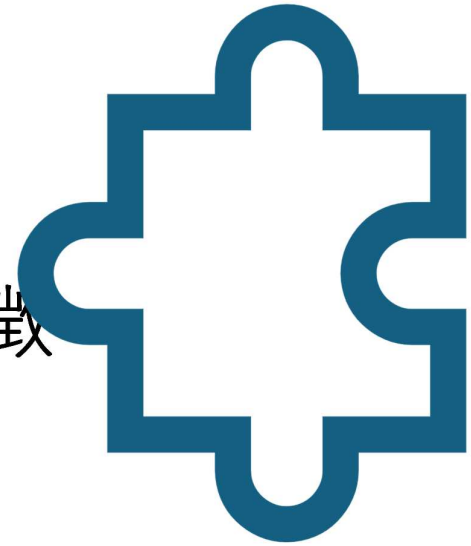
(伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025より)

令和6年8月

## もくじ

- ① 国立公園とは？  
伊勢志摩国立公園の特徴
- ② 伊勢志摩国立公園地域協議会とは？
- ③ 国立公園ビジョン検討・作成について
  - 1) 進め方 (案)
  - 2) アンケート調査の内容 (案)

# 国立公園とは？ 伊勢志摩国立の特徴



## 国立公園とは？



### 日本の国立公園の定義

(自然公園法第2条) 国立公園の定義：

**我が国の風景を代表するに足りる傑出した自然の風景地**

(自然公園法第1条) 目的：

**優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与する。**

- 国立公園の制度は昭和6（1931）年から
- 現在 **35ヶ所**を指定
- 伊勢志摩国立公園は、昭和21（1946）年11月20日に指定。

### 国立公園のブランドプロミス



ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス (国立公園が来訪者・地域に約束すること)



# 伊勢志摩国立公園の特徴

- 英虞湾や五ヶ所湾のリアス海岸、内陸部の常緑広葉樹など、美しい自然景観
- 真珠、カキ等の養殖、海女漁、伊勢神宮などの人文景観
- 神宮参拝、海洋レジャー、海産物等の味覚探訪の利用、エコツーリズム活動
- 96%が私有地

## 自然と人の営みの融合が最大の特徴



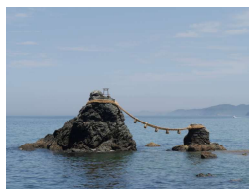
**【コンセプト】**  
悠久の歴史を刻む伊勢神宮  
人々の営みと自然が織り成す里山里海



# 伊勢志摩国立公園の特徴

## 伊勢市

伊勢神宮を中心とし、宮域林の森林景観と、二見浦の海浜景観が特徴で、利用の中心は伊勢神宮の参拝である。



## 鳥羽市

鳥羽湾の海岸を中心とし、朝熊山からの主たる展望対象となる地域でもある。また、交通の要衝となっており、水族館や博物館などの展示施設や宿泊施設等が集中している。



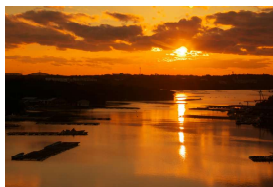
## 南伊勢町

五ヶ所湾、贅湾、神前湾等のリアス海岸と荒々しい海食崖を中心とする海岸線を有する地域である。



## 志摩市

英虞湾や的矢湾の繊細かつ優美なリアス海岸から成り、横山から展望される一帯の地域である。



# 伊勢志摩国立公園 地域協議会とは？

7

## 伊勢志摩国立公園地域協議会とは？

### ■目的

- 国立公園の**美しい自然を活かし、より上質な体験を提供する**ことにより、
- 世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく**国立公園満喫プロジェクト**を伊勢志摩国立公園において推進するための具体的な**プログラム（ステップアッププログラム）**を策定し、実施していくことを目的に、
- **関係機関の相互の連携を図る**ため、伊勢志摩国立公園地域協議会を設置する。

### 協働型管理・運営のイメージ



# 伊勢志摩国立公園地域協議会とは？

## ◆特徴：地域の多様な主体による地域一体となったプロジェクトの推進

- 伊勢志摩国立公園は、私有地の割合が他の国立公園に比べて非常に高い（約96%）
- 多様な関係者がおり、様々な取組みを実行するためには相互連携とそれぞれの主体的な取組みが必要



### ■構成員（24団体）

- 行政関係者に加え民間事業者も構成員となっている
- 観光関係団体に加え、インバウンド利用者には交通が重要なため交通事業者が参加

### ■アドバイザー（19団体・個人）

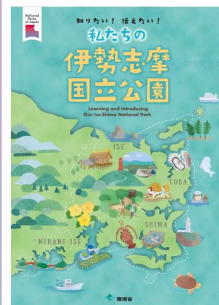
- インバウンドを増やしていくためのキーパーソン。各分野の代表的団体・個人
- 各種取組みへの助言、協議会開催のセミナー（勉強会）講師等としても協力

- ★多くの関係者で協議会を構成し、丁寧に意思疎通を図ることで、プロジェクトを確実に進めていく。
- ★ステップアッププログラムの各者の取組の進捗状況を共有する場であり協議会を通じて、関係者同士の横のつながりを深め、さらなる連携強化を図っていく。

# 伊勢志摩国立公園地域協議会とは？

### 伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025概要

<h4>国立公園の魅力</h4> <p>悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海</p> <p>○自然の恩恵を深く理解し、自然と調和した営みの中で育まれた里山里海の景観が最大の魅力。</p> <h4>将来ビジョン</h4> <p>至る所に存在する人と自然の結び目に触れられる人々が寄せては返す波のように訪れる国立公園</p> <p>○国立公園の魅力ある景観や利用環境が適切に守られている。</p> <p>例えば→浜島湾や石ヶ所湾などの真珠殻産地や海苔産地(そだ)、島嶼などの漁村集落、沿岸部で漁を行う海女の姿など地域に根差した人々の営みと自然が織りなす風景が維持されており、朝熊山などの山並みやリアス海岸などの海岸地形が壊れることなく眺望できる環境。</p> <p>○利用者が必要とする情報や目的とする場所にストレスなくアクセスできる。</p> <p>例えば→旅の目的地までの交通手段が確保されており、Web上や主要駅、ビジターセンター等の拠点施設において、目的地までのアクセス・利用情報が一元化されていることにより入手することが可能。</p> <p>○様々な利用者が国立公園の魅力に触れることができる環境が整っている。</p> <p>例えば→場の特性に応じたユニバーサルデザイン化が図られており、子どもから高齢者、障がいを持つ方、外国人など様々な利用者の多様なニーズに対応できる体験プログラムが整備されている。</p> <p>○安心・安全・快適に滞在できる環境が整っている。</p> <p>例えば→平常時や非常時を問わず全ての来訪者にとって安全・安心な空間が確保され、国立公園を楽しむことが出来る目的地として、新しい生活様式を踏まえた令和の旅のスタイルを導入している。</p> <h4>取組方針</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上質な展望環境及び快適で安全な利用環境の整備 →重点取組①、②、③</li> <li>● 観光資源の磨き上げによるストーリー性を持った質の高い自然体験等の提供 →重点取組⑤、⑥</li> <li>● 人々の営みと自然が織りなす優れた景観の保全 →重点取組④</li> </ul> <h4>2025目標</h4> <p>『国内外利用者の数をコロナ感染症前と同等レベルに回復、利用の満足度はそれ以上を目指す』</p>	<h4>重点的な取組</h4> <h5>取組① ワークーションの推進</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆テレワークの実施環境の整備や滞在者に提供する自然体験等のプログラムの企画や造成を行います。</li> <li>◆テレワーク実施者等を受け入れる施設及び体験プログラム等において、コロナ感染症対策を徹底します。</li> </ul> <h5>取組② 交通アクセス等の充実</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆主要利用拠点に至るまでの交通アクセス等の利便性向上を図るため、ICTを活用した交通サービス等の検索・予約・決済の一元化(MaaS)の構築を目指します。</li> </ul> <h5>取組③ 拠点施設の機能強化</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆拠点施設において、職員への対応能力の強化、提供する自然体験プログラムの充実、情報発信機能の強化、国立公園利用に必要な物販、多言語対応の充実等の取組を行います。</li> </ul> <h5>取組④ 景観改修</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆展望地等において眺望を阻害している樹木の伐採、景観や利用環境を阻害している海岸ゴミの対策強化、海中のゴミ対策や藻場の保全などを推進します。</li> </ul> <h5>取組⑤ エコツーリズムの推進</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会が主体となって、エコツーリズム全体構想を策定します。</li> <li>◆プログラムのブラッシュアップ、おちてなきができる事業者の育成を図ります。</li> <li>◆子どもから高齢者、障がいを持つ方、外国人など様々な利用者の多様なニーズに対応したユニバーサルデザイン環境の整備等受入体制の強化を図ります。</li> </ul> <h5>取組⑥ 国立公園への誘導・プロモーション</h5> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆県内を含む中部圏・関西圏を主要なターゲットとしつつ、コロナ禍からの回復の段階に応じて首都圏や大都市圏も視野に入れ、関係機関が連携してプロモーションを実施します。</li> <li>◆インターネット上のSNS、動画配信サービス等を効果的に活用した情報発信を行い、伊勢志摩国立公園への観光需要を喚起します。</li> <li>◆国・地域ごとの新型コロナウイルス感染症の流行の収束を見極めながら、誘客可能となった国等から訪日外国人誘客のプロモーションを実施します。</li> </ul>
---	--



# 国立公園のビジョン 検討・作成について

11

## 国立公園のビジョン検討・作成の目的



### ■なぜ必要か？

- 国立公園の管理において、新たな課題への能動的な対応、国立公園としての資質や魅力の保全、利用者のニーズの変化を踏まえ地域振興に配慮した適切な利用の推進、地域の観光や土地利用に関する計画・施策との整合性を図るためには、多様な関係者との協働による管理運営が不可欠。
- 協働による管理運営には、国立公園の目指すべきビジョンを地域の皆様と検討し、共有していくことが必要。
- R4自然公園法改正に伴う要領見直しにより、国立公園の公園計画基本方針にビジョンを記載することとなった。



▲H25環境白書より

12

# 国立公園のビジョン検討・作成の目的



## ■伊勢志摩国立公園においてなぜ今検討しようとしているのか？

- 伊勢志摩国立公園地域協議会において「ステップアッププログラム2025」による取組を進めており、次期プログラム「SUP2030」への改定が間近である。
- 令和8年度には国立公園指定80周年を控えている。
- そのため、今、国立公園の目指すべきビジョンを地域の皆様と検討・共有し、「ステップアッププログラム2030」に実装することにより、今後の伊勢志摩公園における各種取組みを、地域の皆様と共通認識を持ち連携して進めていくことができる。
- また、このような機会を捉え、公園計画の変更も検討しており、共通のビジョンを実装する予定。

13

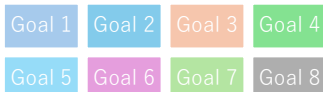
# 伊勢志摩国立公園ビジョン



## 《伊勢志摩国立公園ビジョン》とは？

- 指定80周年を前に、90周年、100周年に向けて伊勢志摩国立公園の目指す姿を示す宣言のようなものを想定
- よりよい未来を築くため、これからの伊勢志摩国立公園が目指す姿をわかりやすくとりまとめたもの
- 伊勢志摩国立公園に関わる人の想いをとりまとめ、地域に浸透していくようなものにしたい
- 中長期的な視点に立ち、国立公園の望ましい姿、提供すべきサービス、公園の価値や保全・利用の目標を地域の人々にとってわかりやすく示したものを検討

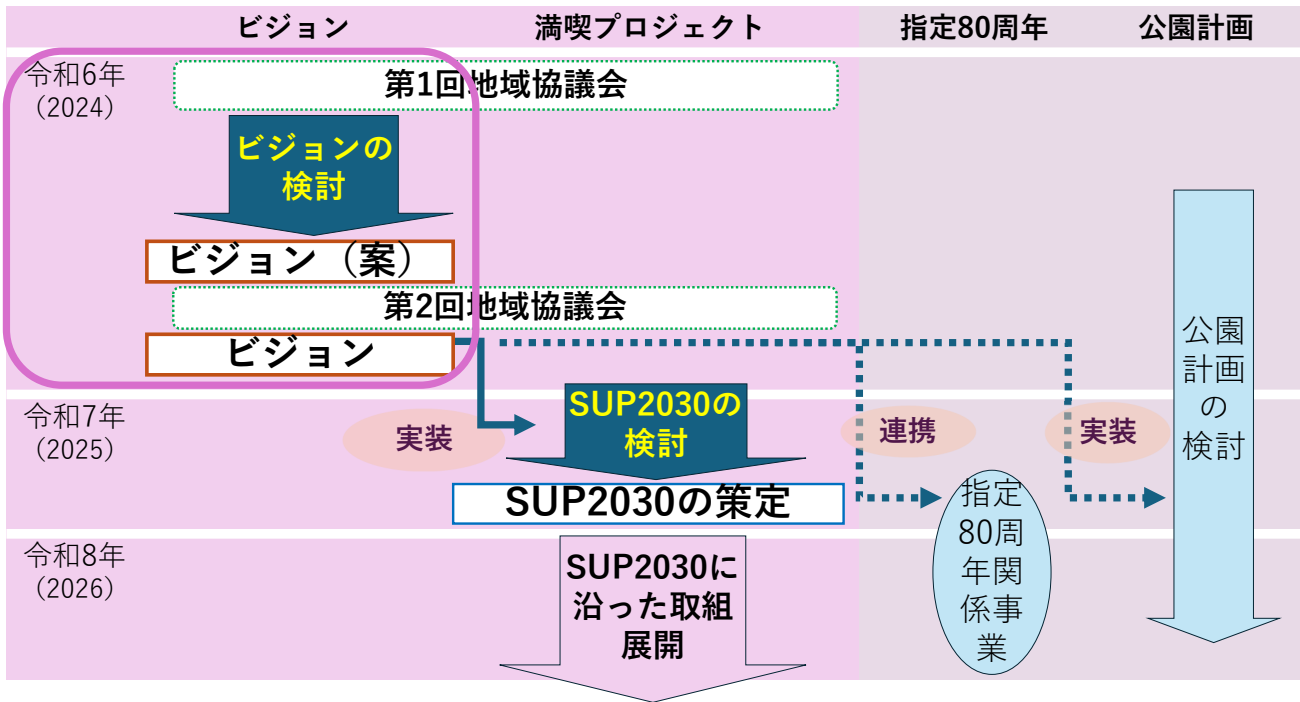
イメージ



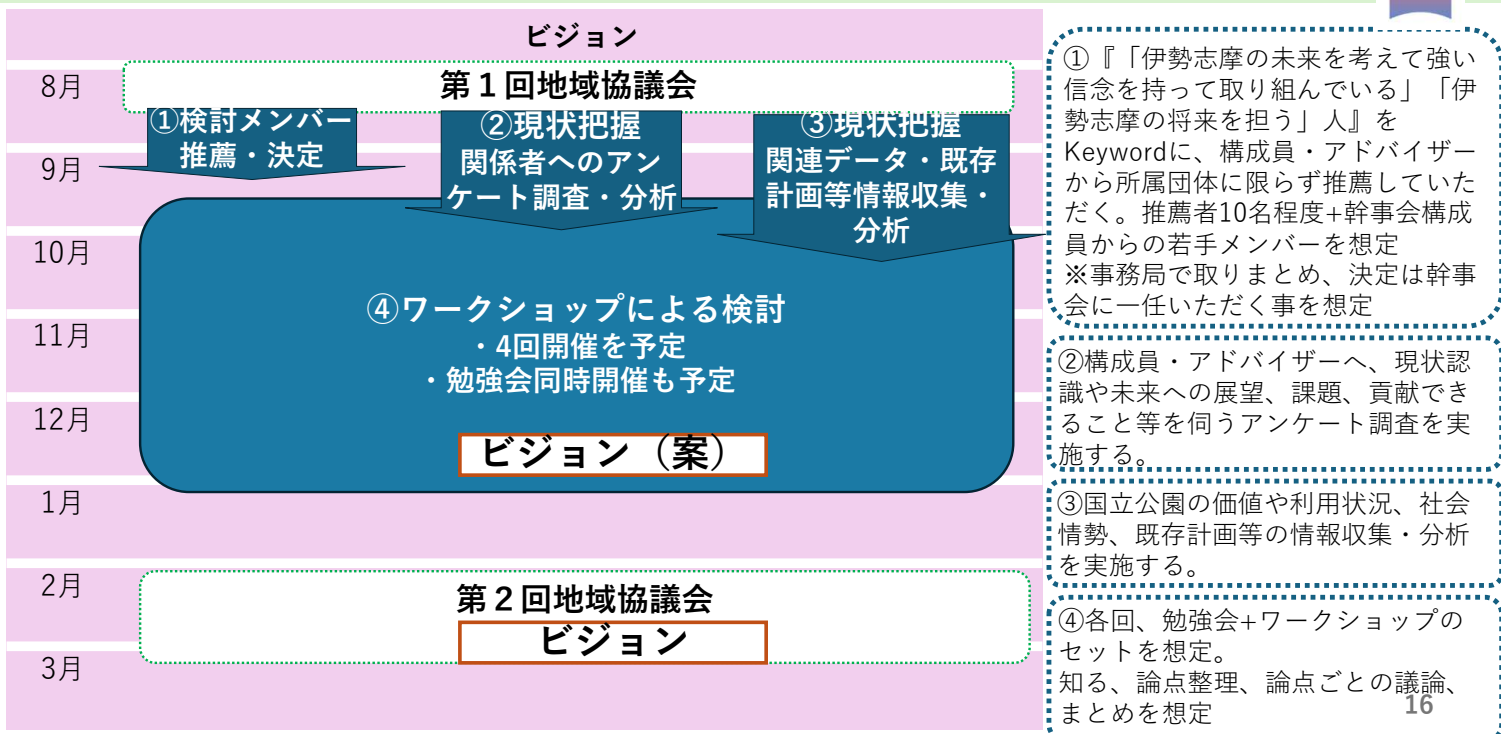
- ビジョンを単にキャッチフレーズとせず、達成するための目標として具体的な姿を付記することを想定
- これにより具体的な行動につながり、達成状況のモニタリングが可能になる

14

# ビジョン検討・作成とその後の流れ（案）



# ビジョン検討・作成の流れ（案）





# 他地域のビジョン事例①

## ●雲仙プラン100基本理念

### 「つながる」

- ・自然と人、人と人、地域と地域が豊かな関係（つながり）を築き、美しく元気な郷土を未来の子どもたちへ伝える（「つなげる」）。
- ・国内外から人が訪れ（国内外からの来訪者と地域の魅力が「つながり」、訪れた人も、住む人も、働く人も、みんなが満足度 100%で元気になる（笑顔でつながる））地域を目指す。

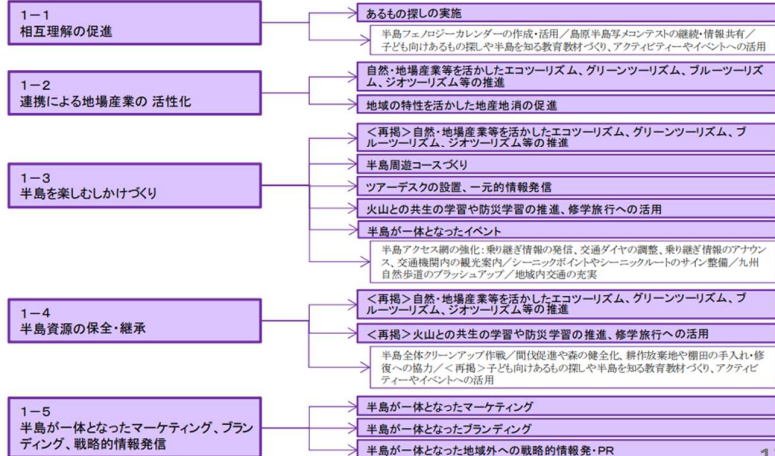
としました。

## ●基本理念を実現するための将来像とそのための戦略



## 戦略1 島原半島が一体となった取り組みの強化

島原半島が一体となって交流や相互理解を促進するとともに、相互の特性を活かし、自然や地場産業を活用した交流・体験プログラムを実施し、島原半島全体の交流人口を増やすために、最大限雲仙地域が出来ることに取り組む。



# 他地域のビジョン事例②

## 《大雪山国立公園ビジョン》

まもり、活かし、つなげよう みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園

### ■大雪山国立公園の目指す姿

- ①大雪山の自然環境が守られ、より豊かになった国立公園
- ②魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園
- ③つながっていく国立公園
- ④みんなが協働して管理運営する国立公園

### ■ビジョンを実現するための取組例（一部抜粋）

- 大雪山グレードに応じた歩道の補修等維持管理の促進（植生の回復、地形・土壌の浸食防止）
- 外国人利用者対応の充実
- 一元的な情報発信
- 国立公園内外の連携やプロモーションの促進
- ビジターセンター等の国立公園の拠点施設における学びの支援



大雪山国立公園ビジョン

まもり、活かし、つなげよう  
みんなでつくる、  
世界を魅了する大雪山国立公園

令和2年6月 大雪山国立公園連絡協議会



## 《磐梯朝日国立公園 磐梯吾妻・猪苗代地域のありたい未来（ビジョン）》

- いつでも 心揺さぶる自然がある
  - 誰でも 心躍る体験がある
  - 何度でも 心惹かれる歴史・文化が待っている
- これからも誰もが自分らしくいられるそんな地域でありたい。



磐梯朝日国立公園連携プロジェクト  
磐梯吾妻・猪苗代地域  
ステップアッププログラム2025

### ■基本方針

- ①地域の最大の魅力である自然環境・景観の保護及び歴史・文化の継承
- ②国立公園の適正な利用促進による地域社会・地域経済への貢献
- ③磐梯吾妻・猪苗代の三地域をつなぐ広域ネットワークの形成
- ④磐梯朝日国立公園を核としたサステナブル・ツーリズムの展開
- ⑤ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた段階的・複層的な取組展開
- ⑥この地域にしかない上質な体験の提供



令和4（2022）年3月

磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域連携プロジェクト地域協議会